



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 ナブテスコ株式会社

コード番号 6268 URL <http://www.nabtesco.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小谷 和朗

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 松本 敏裕

TEL 03-5213-1133

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	43,786	△2.1	3,141	△16.8	4,463	1.0	2,307	△8.9
25年3月期第1四半期	44,727	△1.0	3,774	△38.1	4,418	△34.5	2,533	△35.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 5,626百万円 (9.5%) 25年3月期第1四半期 5,137百万円 (11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.10	18.10
25年3月期第1四半期	20.04	20.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	209,490	124,458	55.9
25年3月期	203,056	120,857	56.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 117,035百万円 25年3月期 114,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	18.00	—	16.00	34.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	18.00	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	94,700	4.4	7,400	△2.6	8,600	1.5	4,600	△29.4	36.25
通期	201,000	12.0	22,000	46.5	25,100	40.3	15,900	19.8	125.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	128,265,799 株	25年3月期	128,265,799 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	735,223 株	25年3月期	828,516 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	127,483,930 株	25年3月期1Q	126,379,913 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
(1) セグメント別生産高、受注残高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く世界の事業環境は、米国では失業率の改善傾向や住宅市場の持ち直しなど景気回復傾向が見られ、また、日本経済においても安倍政権の経済政策アベノミクスへの期待感を背景に円高の是正や株価の上昇等、緩やかな持ち直しの傾向が見られましたが、欧州経済停滞の長期化や中国経済の成長鈍化やシャドーバンキング（影の銀行）問題の台頭など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループの第1四半期連結累計期間の業績については、航空機器事業や自動ドア関連事業において売上が増加したものの、鉄道車両用機器の中国向けや商用車用機器などでの売上減少の影響を受けて、売上高は前年同期に比べ減収となり、営業利益も減益となりました。経常利益については営業外損益の改善により増益となりましたが、四半期純利益については、法人税等の増加により減益となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第1四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比6,641百万円（13.9%）増加し54,271百万円となりました。売上高は、前年同期比941百万円（2.1%）減少の43,786百万円となり、営業利益は同633百万円（16.8%）減少し、3,141百万円となりました。売上高営業利益率は同1.2ポイント低下し、7.2%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	増減率 (%)
精密機器事業	9,672	11,156	15.3
輸送用機器事業	9,938	13,261	33.4
航空・油圧機器事業	16,167	14,961	△7.5
産業用機器事業	11,852	14,891	25.6
合計	47,630	54,271	13.9

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	増減率 (%)
精密機器事業	9,777	9,667	△1.1
輸送用機器事業	11,646	10,840	△6.9
航空・油圧機器事業	12,802	12,331	△3.7
産業用機器事業	10,500	10,947	4.3
合計	44,727	43,786	△2.1

【営業利益】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	増減率 (%)
精密機器事業	1,019	1,222	19.8
輸送用機器事業	1,569	666	△57.5
航空・油圧機器事業	818	956	16.9
産業用機器事業	367	296	△19.4
合計	3,774	3,141	△16.8

【精密機器事業】

精密機器事業の受注高は、前年同期比15.3%増加し11,156百万円となりました。売上高は前年同期比1.1%減少の9,667百万円、営業利益は同19.8%増加し1,222百万円となりました。

精密減速機の売上高は、国内外の産業用ロボットメーカーにおける需要停滞およびその他用途向け低迷の影響を受けて横ばいとなりましたが、固定費削減により営業利益は増加しました。

【輸送用機器事業】

輸送用機器事業の受注高は、前年同期比33.4%増加し13,261百万円となりました。売上高は前年同期比6.9%減少の10,840百万円、営業利益は同57.5%減少の666百万円となりました。

鉄道車両用機器は、中国鉄道向け売上の減少により減収となり、営業利益も減少しました。商用車用機器では、東南アジア向けの需要は引き続き堅調に推移しましたが、国内での震災復興需要が一服した影響を払拭しきれず売上高、営業利益とも減少しました。船用機器は、船舶市況低迷の影響を受けて減収減益となりました。

【航空・油圧機器事業】

航空・油圧機器事業の受注高は、前年同期比7.5%減少し14,961百万円となりました。売上高は前年同期比3.7%減少の12,331百万円、営業利益は同16.9%増加し956百万円となりました。

航空機器は、民間航空機需要の拡大および円安効果により増収となり、営業利益も増加しました。一方、油圧機器は、中国における建設機械需要減の影響を受けて減収となり、営業利益も減少しました。

【産業用機器事業】

産業用機器事業の受注高は、前年同期比25.6%増加し14,891百万円となりました。売上高は前年同期比4.3%増加の10,947百万円、営業利益は同19.4%減少の296百万円となりました。

自動ドアは、国内市場が回復基調であることに加え、北米市場での売上増により増収となりましたが、製品構成の変化により営業利益は減少しました。包装機は、海外向けの売上減少により減収減益となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	
日本	25,075	25,326	1.0
アジア	9,586	8,180	△14.7
北米	2,458	3,565	45.0
ヨーロッパ	7,533	6,587	△12.6
その他地域	73	126	72.4
合計	44,727	43,786	△2.1

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

2 アジア向けの減は主に油圧機器の中国向け減少によるものです。

3 北米向けの増は主に航空機器の増加によるものです。

4 ヨーロッパ向けの減は主に精密減速機の減少によるものです。

② 経常利益

当第1四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比45百万円(1.0%)増加の4,463百万円となりました。

主な増加要因は、持分法による投資利益の増加や、為替差益の増加により営業外収益が同592百万円増加したこと、主な減少要因は、営業利益での同633百万円の減少に加え、為替差損の減少等により営業外費用が同86百万円減少したことによるものです。

③ 四半期純利益

当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期比225百万円(8.9%)減少の2,307百万円となりました。

特別利益は、固定資産売却益の減少等により前年同期比39百万円減少の2百万円、特別損失は、前年同期にグループ会社で計上した株式交換関連費用の減少等により、前年同期比59百万円減少の8百万円となりました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は前年同期比64百万円増加の4,457百万円となりました。法人税等は前年同期比362百万円増加の2,065百万円となり、少数株主利益は、前年同期比73百万円減少の83百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (平成25年6月30日)	増減額
総資産	203,056	209,490	6,433
負債	82,198	85,032	2,833
純資産	120,857	124,458	3,600

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は114,951百万円、固定資産は94,539百万円であり、その結果、総資産は209,490百万円と前連結会計年度末比6,433百万円の増加となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加2,020百万円、たな卸資産の増加1,657百万円、投資有価証券の増加1,336百万円及び有形固定資産の増加1,234百万円であります。一方、主な減少要因は、有価証券の減少2,998百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は55,114百万円、固定負債は29,917百万円であり、その結果、負債合計は85,032百万円と前連結会計年度末比2,833百万円の増加となりました。主な増加要因は支払手形及び買掛金の増加2,393百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は124,458百万円であり、自己資本は117,035百万円と前連結会計年度末比2,996百万円の増加となりました。主な増加要因は、四半期純利益2,307百万円による利益剰余金の増加、在外子会社の為替変動による為替換算調整勘定の増加2,339百万円であります。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少2,049百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

退職給付制度の改定

当社は平成25年7月1日付で確定給付企業年金制度を終了し、その全額を確定拠出企業年金制度に移行することにより、確定拠出企業年金制度が退職給付制度に占める割合を、これまでの30%から60%に引き上げております。

本移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用し、第2四半期連結累計期間において特別損失約10億円を計上する見込みであります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,904	15,272
受取手形及び売掛金	45,131	47,152
有価証券	26,998	24,000
商品及び製品	3,957	4,714
仕掛品	7,808	8,852
原材料及び貯蔵品	8,764	8,620
繰延税金資産	2,606	2,647
その他	2,994	3,870
貸倒引当金	△118	△178
流動資産合計	112,048	114,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,042	46,325
減価償却累計額	△27,504	△27,964
建物及び構築物(純額)	16,537	18,361
機械装置及び運搬具	60,129	62,135
減価償却累計額	△41,497	△42,662
機械装置及び運搬具(純額)	18,631	19,473
工具、器具及び備品	21,290	21,943
減価償却累計額	△19,022	△19,418
工具、器具及び備品(純額)	2,267	2,524
土地	14,592	14,660
建設仮勘定	2,447	690
有形固定資産合計	54,475	55,710
無形固定資産		
のれん	15,808	16,664
その他	1,771	1,905
無形固定資産合計	17,579	18,570
投資その他の資産		
投資有価証券	16,902	18,238
繰延税金資産	482	480
その他	1,716	1,685
貸倒引当金	△147	△146
投資その他の資産合計	18,953	20,258
固定資産合計	91,008	94,539
資産合計	203,056	209,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,026	30,419
短期借入金	6,098	5,215
1年内返済予定の長期借入金	70	76
未払法人税等	3,222	2,831
製品保証引当金	1,105	1,024
受注損失引当金	14	—
その他	13,783	15,547
流動負債合計	52,322	55,114
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,220	10,391
退職給付引当金	7,022	6,745
役員退職慰労引当金	187	179
繰延税金負債	1,376	1,470
その他	1,070	1,130
固定負債合計	29,876	29,917
負債合計	82,198	85,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	19,026	19,011
利益剰余金	83,606	83,865
自己株式	△739	△605
株主資本合計	111,894	112,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,294	1,580
繰延ヘッジ損益	△0	△6
為替換算調整勘定	851	3,190
その他の包括利益累計額合計	2,144	4,763
新株予約権	304	213
少数株主持分	6,514	7,209
純資産合計	120,857	124,458
負債純資産合計	203,056	209,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	44,727	43,786
売上原価	33,555	32,854
売上総利益	11,172	10,931
販売費及び一般管理費	7,397	7,790
営業利益	3,774	3,141
営業外収益		
受取利息	33	26
受取配当金	39	41
受取賃貸料	67	59
持分法による投資利益	498	976
為替差益	—	230
その他	167	63
営業外収益合計	805	1,398
営業外費用		
支払利息	65	52
為替差損	46	—
その他	50	23
営業外費用合計	162	75
経常利益	4,418	4,463
特別利益		
固定資産売却益	34	2
負ののれん発生益	7	—
特別利益合計	42	2
特別損失		
固定資産処分損	14	8
投資有価証券評価損	1	—
株式交換関連費用	51	—
特別損失合計	68	8
税金等調整前四半期純利益	4,392	4,457
法人税等	1,702	2,065
少数株主損益調整前四半期純利益	2,690	2,391
少数株主利益	157	83
四半期純利益	2,533	2,307

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,690	2,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△452	279
繰延ヘッジ損益	0	△6
為替換算調整勘定	2,868	2,876
持分法適用会社に対する持分相当額	29	85
その他の包括利益合計	2,446	3,234
四半期包括利益	5,137	5,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,643	4,926
少数株主に係る四半期包括利益	494	699

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,777	11,646	12,802	10,500	44,727	—	44,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	38	230	26	300	(300)	—
計	9,781	11,684	13,033	10,527	45,027	(300)	44,727
セグメント利益	1,019	1,569	818	367	3,774	—	3,774

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去△300百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「精密機器事業」のセグメント利益が9百万円、「輸送用機器事業」のセグメント利益が1百万円、「航空・油圧機器事業」のセグメント利益が5百万円、「産業用機器事業」のセグメント利益が0百万円それぞれ増加しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,667	10,840	12,331	10,947	43,786	—	43,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	35	234	17	293	(293)	—
計	9,673	10,875	12,565	10,964	44,080	(293)	43,786
セグメント利益	1,222	666	956	296	3,141	—	3,141

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去293百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別生産高、受注残高

① 生産高

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
精密機器事業	10,537	22.2	9,657	21.2
輸送用機器事業	12,346	26.0	11,228	24.7
航空・油圧機器事業	13,429	28.3	13,323	29.2
産業用機器事業	11,172	23.5	11,364	24.9
合計	47,486	100.0	45,574	100.0

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。

② 受注残高

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
精密機器事業	12,522	17.0	10,337	13.0
輸送用機器事業	17,731	24.0	18,791	23.6
航空・油圧機器事業	27,620	37.4	30,335	38.1
産業用機器事業	16,002	21.7	20,143	25.3
合計	73,875	100.0	79,607	100.0

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。